

# けつとばせ！「日の丸・君が代」

## 学校、地域から反天皇・反国家主義の人民的連帯運動を！



第9号 100円 編集 「風をよむ」編集委員会  
1990. 3. 10 発行 共産主義者同盟首都圏委員会

### 新指導要領白紙撤回！

新年度を間近にひかえて、卒業式、入学式などの学校行事における「日の丸・君が代」の強制に反対する闘いが緊急の課題となっている。

周知のように、政府・文部省は、国家主義・能力主義にもとづく臨教審路線の下で、昨八九年三月、新学習指導要領の告示を強行した。これは、「生活科」(小)、「地歴科」(高)の新設にみられる「社会科」解体、道徳教育の重視、「東郷平八郎」の復活(小六)、「習熟度別編成」(中)など極めて露骨な、公教育の管理主義・国家統制化の意図に貫かれたものである。それとともに「特別活動」において「入学式や卒業式などの儀式」においては、その意義を踏まえ、国旗を掲揚するとともに、国歌を斉唱するよう指導するものとするとして、「日の丸・君が代」の国家主義教育を、しかも、これに従わない場合には「処分」つきで実施することとしている。そしてこの「日の丸・君が代」については、九〇年度実施が、現行指導要領の「特例」として「義務化」を指示されている。これが本年十一月に予定される「即位式」「大嘗祭」を念頭においたものであることは明白である。

こうして、管理主義、差別選別教育、能力主義、国家主義に貫かれた「新指導要領」と、とりわけ「日の丸・君が代」義務化に対しては、かの「リクルート」

疑念)の高石邦男が文部省事務次官として、その策定に直接に携わったこととあわせて、広汎な反対の声があげられている。すでに八八年八月以来の全国署名運動連絡会議(第一次)のとりくみにひきつづき、持続的に八九年から第一次全国署名運動がとりくまれ、来たる三月十五日には文部省への署名提出と抗議行動等が予定されている。また、東京の三多摩地域を中心として、国立市、立川市、清瀬市、昭島市などの各地方議会において、市民運動の声が実を結んで、「新指導要領撤回決議」があげられるに至った。労戦再編の動きの中で、教組のとりくみが、まひとつ力不足の観を否めないのに比して、こうした地域を舞

### 39回総選挙 — 「精神的鎖国と生活保守」

### 経済成長主義に対抗する政治勢力の形成を

二月十八日行われた第39回総選挙は、自民党が実質的に圧勝するという、世界が大きく変化する中で、いかにも日本的な、みすぼらしい結果におわった。政党間の論戦から投票結果にいたるまで、争点はドメスティックなものに終始し、精神的鎖国と生活保守主義があらわさずこの国の主流であることが明白になった。とはいっても選挙が終れば、日米構造協議、安保の見直しなど、「黒船」がすぐそこまで迫ってきている。国内でもかつてない社会構造の激変、階層化が進行している。従来の政治的枠組、言説が通用しなくなる時代が目の前までやってきているのであり、新しい政治的主体の形成が九〇年代を通じて問われている。

### 成功した自民党の右からの組織戦

絶対得票率を見ると、自民党は昨年の参院選での落ち込みから回復、三七%という高い得票率を得ている。社会党は一・五倍に増え、代わりに公明、共産、民社が参院比例代表区と同様下降傾向にある。

自民党の勝利は、生活保守主義というベースの上に、さまざまな金のバラ撒きと体制選択論がある程度効果をもたらしたことに由来する。「自由主義か、社会主義か」というそれ自体はアタクシズムな代物にすぎない体制選択論が、実際はかなり多面的に作用した。一つは日の丸をかかげるか否かの問題として浸透し、特に後援会組織、運動

合のあらわれにほかならない。これに抗して、学校、地域における粘り強い闘いをつうじて人民の反国家主義的連帯のネットワークを形成すること、すなわちオルタナティブの形成、強化をめざす闘いが求められている。今春、三・四月の「日の丸・君が代」をめぐる攻防は、まさにこの試金石にほかならない。

3月11日(日)午後1時から、学習指導要領の強制と日の丸・君が代の強制を許さない3・11討論会/於: 神田パンセ/集会実行委員会

3月15日(木)午後1時/対文部省署名提出と国会抗議行動/文部省前集合/日の丸・君が代の強制に反対する第二次全国署名連絡会議/日の丸・君が代に反対するネットワーク

### スミダ電気・タナシン電気・スワニー は集団解雇を撤回しろ！



女性労働者を使い捨てる日本企業の横暴を許すな! 3・3集会、デモ東京、清水合公園

雨をつけて、女性労働者をはじめとして一〇〇名のなかまが、韓国女性労働者との連帯と争議の勝利に向けて、集会とデモを打ち抜いた。

進出企業の責任逃れを許さず「資本の横暴が国境を越えるなら、労働者の連帯もまた国境を越えなければなりません」と訴える、韓国女性労働者の闘いに圧倒的な支援連帯の闘いでこたえよう。

### 社会民主主義への徹底した批判を

女性を中心とした社会運動の高揚、特にXデー前後の活発な市民運動の展開、そして、選挙を通してこれらの動きが一つの層として定着しつつあることは、社会的な勢力としての形成の可能根拠を示している。この主体の形成に際して、今緊急に重要なことの一つは社会党、社会民主主義に対する批判である。宇野派の学者グループを中心に、最近、社会民主主義が賛美され、新たな時代を切り開くかのように吹聴されている。その中で言われていることは、東欧に象徴されるように、世界は社会民主主義の時代であり、連合と市民運動と社会民主主義が手を結ぶ日本はバラ色といった類いのものである。それは、西ドイツ社民党がエコロジとフェミニズムを受けとめ、ドイツ労働総同盟との論戦の末、昨年ペルリン綱領を採択したような水準に達し、ケインズ主義の焼き直し以上のものをでている。それ以上に問題なのは、市民運動を、連合とともに、日本型コーポラティズム体制へと取り込んでいく役割をしていることである。

一例をあげよう。現在の市民運動において生協という組織のもつ位置は大きい。だが今日の生協運動の少ない部分は、男女の役割分担を固定的なものにとらえ、主婦という立場において運動にかかわり、安全な食品は、家族を守ることと直結される。夫は連合、妻は生協で楽しく豊かな家庭生活、これが社会党の求める姿であり、これに

◎絶対得票率の推移

	総選	参院比例区			
	83年	86年	89年		
自民(含新自)	34.9	39.2	37.4	25.6	17.1
社会党	13.4	12.4	18.3	11.4	21.9
公明党	7.0	6.7	5.9	8.6	5.9
共産党	6.5	6.3	5.8	6.3	4.4
民社党	5.0	4.6	3.6	4.6	3.0
その他	32.7	30.2	28.0	43.5	46.8

### 豊かな層の出現

新五五年体制、二大政党体制などが飛びかいはじめている。しかし事はそのように単純ではない。昨年参院選の結果について、われわれは自民党の敗北は①階層化の進行、格差の拡大、②利益誘導を基調とした政治手法が限界にきたことを上げ、しかし新国家主義と、権力核を中心とした政・財・官・労による日本型コーポラティズムという中層根政治の根幹は健在であると結論づけた。①②の構造的要因

構造の変動を分析するにあたって一つのキーワードは、「階層化」である。参院選の分析のさい、「極少数のニューリッチと大多数のニューブアへの両極分解」として階層化をとらえたが、これは現時点では訂正する必要がある。階層化は進んでいる。だがニューリッチあるいはそれに近い層は極少数ではなく、一定の層として存在し、それが今日の政治的流動化の大きな源となっている。それは次のように

「(四四人の)一〇億ドル長者(ピリオナイヤー)の周囲に群生する「スーパーリッチ」さらにそれを取り囲んで年間所得一千万円以上の「ニューリッチ」二五百万円、七百万円から一千万円の豊かな四七九万世帯、さらに首都圏九三〇万世帯中の九%二〇万世帯の「ストック・リッチ」が「持つもの」のブロック、日本の中産階級を

れへの階層的上方移動を根拠としている。社会党の躍進は、この豊かな層を連合、市民運動の二つの回路で掌握したことにある。他方、この十数年で約五〇〇万世帯が下降移動し、年収四百万円以下の貧困な層はそれと準ずる層は一千三百万といわれている。この層はいまのところ公明党以外に明確な政治的あるいは労働組合も含め運動的表現をもっていない。

おそらく九〇年代は、日米経済摩擦を基調に、日本の繁栄の根拠が崩れ、大規模な社会的下降移動がはじまるであろう。新たな「石油戦略」の発動による「油上の崩壊」、アメリカ力による対米日本資産の凍結など過激なものから、いろいろなケースが考えられるが、日本資本主義が没落の局面に入ることが確実であろう。これは階層の大規模な下方移動をもたらす、きわめて緊張をはらんだ階層情勢になることは必至である。今やるべきことは、こうした一種の破局と混乱に対し、対応する最低限の政治勢力を社会的に形成することである。

- ス ケ ジ ュー ル
- 3月25日 三里塚現地闘争 (正午・横堀現闘本部前)
- 3月30日 国労清算事業団闘争全国集会 (午後6時・日比谷野音)
- 4月27、29日 反原発総行動 (日比谷公園・29日:日比谷野音)

# 国鉄「4・1解雇」提案をはねかえせ！ ストライキを全力で支えよう

清算事業団二千名労働者の首切り撤回・原職復帰を軸とする国鉄闘争は、三月の雇用期限切れを前に、いよいよ最大の山場を迎えた。

2/26に配置された第三波の72時間ストライキは、一ヶ月前の解雇予告策動を阻止したことなどの理由により延期された。この延期決定については、血のじむような思いをしてスト体制を準備してきた国労の職場末端の組合員から、疑問の声が出されている。このことは、

職場には闘うエネルギーが充満していることの証左でもある。いずれにせよ依然、緊迫した状況に変わりはない。

2/27には、東京地評を中心とした東京総行動の一環として、中労委要請行動、JR本社抗議行動が100名近い仲間の手で行われた。周知の通り、今回の総行動は、昨年12月に連合派による東京地評解雇策動を粉砕し、42万人を結集して再建が勝ち取られた新生地評の最初の大衆行動として展開されたものである。

すでに労働委員会の勝利命令は七〇件を突破し、JRの不当労働行為は誰の目にも明らかとなっている。この国家的不当労働行為を許さない闘いは、国鉄労働者のみならず、全労働者にとって重要な闘いであることは言うまでもなく、九〇春闘の前段階として負けられない闘いである。

3/12の16の拠点スト、3/19の21の全労連スト、3/29の31の「全労連」を全力で支えよう。3/30の1万人集会を成功させよう。「国鉄清算事業団闘争に連帯する会」に参加し、四月以降も射撃した争議支援の



「国労だから、女だから、そんな差別は許さない女のネットワーク」

82年に翻訳されてから、読まれた方も多しと思う。巻末のヤマガチフミコさん、藤本和子さんの「メリディアン」についての解説も力作で、読みごたえがある。過酷な生の中で、逃げ道を断ち、ギリギリと自分自身に迫り昇華していくメリディアンに、読み手の私も、ほとんど打ちのめされながら、深い問いにとりつかれる。

60年代の公民権運動を闘った黒人の女達、白人の女達の想いが、痛々しい程に粉砕を繰り返した生で描かれている。そしてメリディアンは生きたまま通ったその総括が、テーマとなっている。

SNCC(黒人、白人合同の学生非暴力調整委員会)の方針転換「白人を殺す」と言い切れないメリディアンは、17才で産んだ子を、他人に渡して

目的に結ばれた。ネットワーキングは①清算事業団闘争勝利をもちとること、②不当差別撤回闘争(根本さん不当配転、仙三三不当配転、大阪和田さん臨職解雇)を具体的闘いにすえ、ネバリ強さを発揮した闘いを組むことを申し合わせた。いま国労は女が輝きはじめた。そのことの中に、時代の労働運動の変わり様をよみとることができ、変革のカナメがこの闘いの中に象徴されている。女達が元気に闘い、そのことで国労闘争も力強いものとなる。

男組合と思われている国労に女性組合員は五百人、清算事業団には三人の女性がいる。彼女たちは当局の国労攻撃の中で差別の矢面に立って来た。その事を知った女達が昨年六月、はじめての集会を持って以来ネットワーキングを広げ、十一月二日には四百名の結集で東京行動を成功させた。今回のネットワーキングは、この運動の更なる発展を

追いつかぬ支部の代議員選挙に敗北するなどして追い詰められた総局大会を開き、六月をめどに「延期」という惨めな事態に陥った。90春闘方針も全労連色の濃い原案が提起されているが、その一方で「総団結のための全労連・連合の二重加盟か、純中立しかない」といっては、反全労連派にクサビを打ち込み、必死で巻き返しをはかるうとしていく。

都労でも2/28・3/1臨時大会で決定する予定だった横濱市同様の分裂方針が、またまた先送りされた。本部のもと「労働問題対策委員会(仮称)

「都職労、横濱市従の現状から」  
追いつめられる全労連派

労働問題をめぐる自治労の分裂・再編劇は、最終局面の激闘が長期化しようとしている。焦点となっている都職労13万人と横濱市従(2万人)を全労連労働者のみならず、全労働者にとって重要な闘いであることは言うまでもなく、九〇春闘の前段階として負けられない闘いである。

横濱市従全労連派は、暴力的な機関運営を積み重ねて「2/9臨時大会」をでっち上げ、事実上の自治労脱退・全労連合流方針を何となく決定せんとした。しかし、約半数にのぼる支部で「分裂方針撤回」臨時大会中止を求める動きとなり、

「都職労」は、革命で人を殺すのは伝染病を根絶しようとするの革命命はもうすたれたと、言っている。しかし、メリディアンは、この問いから離れず、生活のための物々を捨て去りながら、「投票者登録運動」を一人で続け、南部の黒人社会へ巡礼に旅す」と答えられない。トルーマンは、「革命で人を殺すのは伝染病を根絶しようとするの革命命はもうすたれたと、言っている。しかし、メリディアンは、この問いから離れず、生活のための物々を捨て去りながら、「投票者登録運動」を一人で続け、南部の黒人社会へ巡礼に旅す」と答えられない。

「書評」  
アリス・ウォーカー  
『メリディアン』  
に繋がるもの

メリディアンは、「過去の何かからしつかりと掴まられていない」という自分の存在が、母の存在・民族の歴史から繋がっていることを感じるが故に、「殺す」と答えられない。トルーマンは、「革命で人を殺すのは伝染病を根絶しようとするの革命命はもうすたれたと、言っている。しかし、メリディアンは、この問いから離れず、生活のための物々を捨て去りながら、「投票者登録運動」を一人で続け、南部の黒人社会へ巡礼に旅す」と答えられない。

「書評」  
アリス・ウォーカー  
『メリディアン』  
に繋がるもの

メリディアンは、「過去の何かからしつかりと掴まられていない」という自分の存在が、母の存在・民族の歴史から繋がっていることを感じるが故に、「殺す」と答えられない。トルーマンは、「革命で人を殺すのは伝染病を根絶しようとするの革命命はもうすたれたと、言っている。しかし、メリディアンは、この問いから離れず、生活のための物々を捨て去りながら、「投票者登録運動」を一人で続け、南部の黒人社会へ巡礼に旅す」と答えられない。

「書評」  
アリス・ウォーカー  
『メリディアン』  
に繋がるもの

メリディアンは、「過去の何かからしつかりと掴まられていない」という自分の存在が、母の存在・民族の歴史から繋がっていることを感じるが故に、「殺す」と答えられない。トルーマンは、「革命で人を殺すのは伝染病を根絶しようとするの革命命はもうすたれたと、言っている。しかし、メリディアンは、この問いから離れず、生活のための物々を捨て去りながら、「投票者登録運動」を一人で続け、南部の黒人社会へ巡礼に旅す」と答えられない。

「書評」  
アリス・ウォーカー  
『メリディアン』  
に繋がるもの

メリディアンは、「過去の何かからしつかりと掴まられていない」という自分の存在が、母の存在・民族の歴史から繋がっていることを感じるが故に、「殺す」と答えられない。トルーマンは、「革命で人を殺すのは伝染病を根絶しようとするの革命命はもうすたれたと、言っている。しかし、メリディアンは、この問いから離れず、生活のための物々を捨て去りながら、「投票者登録運動」を一人で続け、南部の黒人社会へ巡礼に旅す」と答えられない。

# 山形・置賜から 日本農業の未来を拓く

アメリカ、フィリピン、タイ、韓国、台湾、インドの農民および農民活動家と日本の農民、消費者、労働者、の二千人五百人を越える人々が参加し、活発な対話と交流がくりひろげられた。今回、編集部では、この国境

「万国の農民、団結せよ！」  
大きな意義を生んだP21

P21はどうかだったのか、またその後のうきごきについてうかがいたのですが、菅野 国や県といった行政機関でもない、また農協でもない、農民が自らの手によって国際会議を開いたというのには、おそろしく日本に初めてという、わたしたちにとって大変な自信になりましたし、内容もとても有意義なものでした。

「脊髄」  
編集部 食糧制度、米の輸入自由化が大きな政治問題となつていますが、どのように考えていますか。

菅野 非常に難しい問題です。はつきり言えることは、米の問題は、単に一つの作物としての米がだめになるということではない、ということですね。米が柱米があるから畜産、果樹ができていくのです。日本の農家にとって米は脊髄にあたるものです。従って米がだめということは、日本の農業そのものがだめになるということですね。特に東北地方の農民は大ダメージを受けるでしょう。「百姓ノ農外収入十年金」の三点セットでかろうじて生計を立てているのが、この地方の農民の大多数の実態です。代替の就職先もない。

「地域複合経営へ、歩みはじめた農民」  
編集部 農民の中で、次の時代を切り開いて行くような動き、主体はどのように形成されていくのでしょうか。

菅野 よく、日本の農業は厳しい状況にあるといわれますが、私は決してそのようには思いません。時代の大きな変化は必ず、新しい可能性の芽を育てる時です。農業の楽しさとか、農業のもっている様々な可能性とか、また家族農業や地域の自立を考え、持続可能な農法について知識の創造を取り戻すことが可能になってきたときです。確かな手がたえがけが重要です。

「地域複合経営へ、歩みはじめた農民」  
編集部 最後、もうじき衆議院選挙ですが、社会党は伸びますか。

菅野 ここは(山形二区)社会党は複数議席を断念してしまつたので、つまりない選挙です。今回の選挙で自民党が勝つようでは、農民も終わらだということ、自民党以外ならどこでもいいから、とにかく自民党にはいれないでくれ、といっているのですが、そういう「自民党の先生ですらできなかったのに、社会党にできるわけがないじゃないか」という反応が返ってきました。この地方では社会党の集票基盤は官公労の労働者です。ここじゃ、この層はたいへんエリートです。世界が違えば、農民の党はやはり自民党なんです。これに大きな変化はありません。(文責編集部)

「地域複合経営へ、歩みはじめた農民」  
編集部 農村、生産者から見て、都市、消費者というのはいかに関係にあるのでしょうか。

菅野 私の頭の中には、地域といたとき、それは二つあります。一つは今お話ししたように、業種を越え、村を越えて融通しあう、そういう広がりをもちた地域。いま一つは都市です。都市との関係の中で地域の自立という問題です。これまで、ものごとの回転軸が東京にあって、つまり、そこに総論があつて、各論が地域にある。この単純なものさが日本列島にあってはめられ、混乱を招いてきた。地域の自立と言つても、東京が右を向けば、田舎も右を向かざるを得ないのが現実です。ですから私たちは、なるべく地域に自給の要素を取り戻す、順路としては、まず農家での自立と自給、次に地域における自立と自給、そして段階と積み上げていく。その中で、自分たちの展望を地域の中でつくりあげ、それを少しずつひろげるしかないのではないのでしょうか。

「地域複合経営へ、歩みはじめた農民」  
編集部 最後に、もうじき衆議院選挙ですが、社会党は伸びますか。

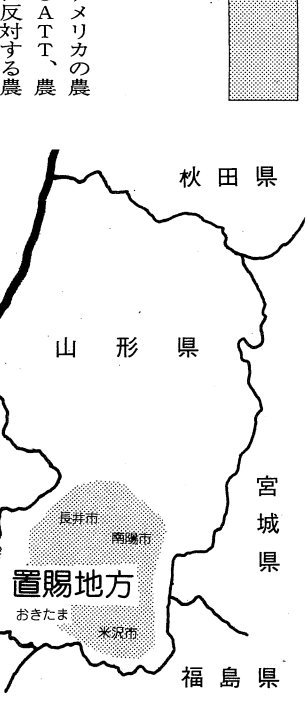
菅野 ここは(山形二区)社会党は複数議席を断念してしまつたので、つまりない選挙です。今回の選挙で自民党が勝つようでは、農民も終わらだということ、自民党以外ならどこでもいいから、とにかく自民党にはいれないでくれ、といっているのですが、そういう「自民党の先生ですらできなかったのに、社会党にできるわけがないじゃないか」という反応が返ってきました。この地方では社会党の集票基盤は官公労の労働者です。ここじゃ、この層はたいへんエリートです。世界が違えば、農民の党はやはり自民党なんです。これに大きな変化はありません。(文責編集部)

「地域複合経営へ、歩みはじめた農民」  
編集部 最後に、もうじき衆議院選挙ですが、社会党は伸びますか。

菅野 ここは(山形二区)社会党は複数議席を断念してしまつたので、つまりない選挙です。今回の選挙で自民党が勝つようでは、農民も終わらだということ、自民党以外ならどこでもいいから、とにかく自民党にはいれないでくれ、といっているのですが、そういう「自民党の先生ですらできなかったのに、社会党にできるわけがないじゃないか」という反応が返ってきました。この地方では社会党の集票基盤は官公労の労働者です。ここじゃ、この層はたいへんエリートです。世界が違えば、農民の党はやはり自民党なんです。これに大きな変化はありません。(文責編集部)

「地域複合経営へ、歩みはじめた農民」  
編集部 最後に、もうじき衆議院選挙ですが、社会党は伸びますか。

菅野 ここは(山形二区)社会党は複数議席を断念してしまつたので、つまりない選挙です。今回の選挙で自民党が勝つようでは、農民も終わらだということ、自民党以外ならどこでもいいから、とにかく自民党にはいれないでくれ、といっているのですが、そういう「自民党の先生ですらできなかったのに、社会党にできるわけがないじゃないか」という反応が返ってきました。この地方では社会党の集票基盤は官公労の労働者です。ここじゃ、この層はたいへんエリートです。世界が違えば、農民の党はやはり自民党なんです。これに大きな変化はありません。(文責編集部)



あるわけですね。

編集部 ライス・センターというものがあつたのですね。菅野 どういうものですか。菅野 農村では高齢化が急速に進んでいます。そういう中で、例えば稲刈りを共同して稲刈り業者に委託するとか、機械を共同で借り入れるとかの、農民の生き残りのために自主組織です。農協が支援しています。将来は育苗センターや田植えまでそのようになるのではないかと考えています。大規模中核農家(北陸では四〇一五〇町歩、東北では一〇町歩程度の農家が対象)の育成を目指す農水省にとっては、あえすじやまなようです。しかし農業が企業化される前身的という要素ももっています。

「地域複合経営へ、歩みはじめた農民」  
編集部 最後に、もうじき衆議院選挙ですが、社会党は伸びますか。

菅野 ここは(山形二区)社会党は複数議席を断念してしまつたので、つまりない選挙です。今回の選挙で自民党が勝つようでは、農民も終わらだということ、自民党以外ならどこでもいいから、とにかく自民党にはいれないでくれ、といっているのですが、そういう「自民党の先生ですらできなかったのに、社会党にできるわけがないじゃないか」という反応が返ってきました。この地方では社会党の集票基盤は官公労の労働者です。ここじゃ、この層はたいへんエリートです。世界が違えば、農民の党はやはり自民党なんです。これに大きな変化はありません。(文責編集部)

「地域複合経営へ、歩みはじめた農民」  
編集部 最後に、もうじき衆議院選挙ですが、社会党は伸びますか。

菅野 ここは(山形二区)社会党は複数議席を断念してしまつたので、つまりない選挙です。今回の選挙で自民党が勝つようでは、農民も終わらだということ、自民党以外ならどこでもいいから、とにかく自民党にはいれないでくれ、といっているのですが、そういう「自民党の先生ですらできなかったのに、社会党にできるわけがないじゃないか」という反応が返ってきました。この地方では社会党の集票基盤は官公労の労働者です。ここじゃ、この層はたいへんエリートです。世界が違えば、農民の党はやはり自民党なんです。これに大きな変化はありません。(文責編集部)

「地域複合経営へ、歩みはじめた農民」  
編集部 最後に、もうじき衆議院選挙ですが、社会党は伸びますか。

菅野 ここは(山形二区)社会党は複数議席を断念してしまつたので、つまりない選挙です。今回の選挙で自民党が勝つようでは、農民も終わらだということ、自民党以外ならどこでもいいから、とにかく自民党にはいれないでくれ、といっているのですが、そういう「自民党の先生ですらできなかったのに、社会党にできるわけがないじゃないか」という反応が返ってきました。この地方では社会党の集票基盤は官公労の労働者です。ここじゃ、この層はたいへんエリートです。世界が違えば、農民の党はやはり自民党なんです。これに大きな変化はありません。(文責編集部)

「地域複合経営へ、歩みはじめた農民」  
編集部 最後に、もうじき衆議院選挙ですが、社会党は伸びますか。

菅野 ここは(山形二区)社会党は複数議席を断念してしまつたので、つまりない選挙です。今回の選挙で自民党が勝つようでは、農民も終わらだということ、自民党以外ならどこでもいいから、とにかく自民党にはいれないでくれ、といっているのですが、そういう「自民党の先生ですらできなかったのに、社会党にできるわけがないじゃないか」という反応が返ってきました。この地方では社会党の集票基盤は官公労の労働者です。ここじゃ、この層はたいへんエリートです。世界が違えば、農民の党はやはり自民党なんです。これに大きな変化はありません。(文責編集部)

「地域複合経営へ、歩みはじめた農民」  
編集部 最後に、もうじき衆議院選挙ですが、社会党は伸びますか。

菅野 ここは(山形二区)社会党は複数議席を断念してしまつたので、つまりない選挙です。今回の選挙で自民党が勝つようでは、農民も終わらだということ、自民党以外ならどこでもいいから、とにかく自民党にはいれないでくれ、といっているのですが、そういう「自民党の先生ですらできなかったのに、社会党にできるわけがないじゃないか」という反応が返ってきました。この地方では社会党の集票基盤は官公労の労働者です。ここじゃ、この層はたいへんエリートです。世界が違えば、農民の党はやはり自民党なんです。これに大きな変化はありません。(文責編集部)

「地域複合経営へ、歩みはじめた農民」  
編集部 最後に、もうじき衆議院選挙ですが、社会党は伸びますか。

菅野 ここは(山形二区)社会党は複数議席を断念してしまつたので、つまりない選挙です。今回の選挙で自民党が勝つようでは、農民も終わらだということ、自民党以外ならどこでもいいから、とにかく自民党にはいれないでくれ、といっているのですが、そういう「自民党の先生ですらできなかったのに、社会党にできるわけがないじゃないか」という反応が返ってきました。この地方では社会党の集票基盤は官公労の労働者です。ここじゃ、この層はたいへんエリートです。世界が違えば、農民の党はやはり自民党なんです。これに大きな変化はありません。(文責編集部)

「地域複合経営へ、歩みはじめた農民」  
編集部 最後に、もうじき衆議院選挙ですが、社会党は伸びますか。

菅野 ここは(山形二区)社会党は複数議席を断念してしまつたので、つまりない選挙です。今回の選挙で自民党が勝つようでは、農民も終わらだということ、自民党以外ならどこでもいいから、とにかく自民党にはいれないでくれ、といっているのですが、そういう「自民党の先生ですらできなかったのに、社会党にできるわけがないじゃないか」という反応が返ってきました。この地方では社会党の集票基盤は官公労の労働者です。ここじゃ、この層はたいへんエリートです。世界が違えば、農民の党はやはり自民党なんです。これに大きな変化はありません。(文責編集部)